



中区・磯子区・金沢区
まちかど政治瓦版

編集・衆議院神奈川1区支部
編集長・平木 茂
郵便番号・231-0064
横浜市中区野毛町2-65
電話045(241)7800
ホームページ www.jun.or.jp

自由民主
LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518
定価1部 105円(税込み)
〈毎週火曜日発行〉

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>

松本純は、家族とわが町を支え「安心の社会」をつくります



ニッポン浮上

経済危機と闘う日々

バブル崩壊から必死に立ち直って安定に向かってきた日本経済が、一日にして暗転しました。平成二十年九月十五日の「リーマンショック」に端を発した世界的な経済危機です。

それは、失業・雇用不安という形で市民生活を直撃し、子育てや老後、治安、食に対する不安とともに戦後の日本の「安心社会」を支えてきた諸々の前提が一挙に崩壊するのではないか、という恐怖を私たちに与えました。

「リーマンショック」の直後に発足した麻生内閣にとつて、それからの九カ月間は、経済危機克服のために闘う日々でした。

「世界で最も早く経済危機から脱却しよう」とを合言葉に実施した経済対策は、「安心実現のための緊急総合対策」から「生活対策」「生活防衛のための緊急対策」、そして「経済危機対策」まで四次にわたり、総額は九十兆円にも達しています。

新たな市場と雇用をつくる

経済危機対策は、徐々にその効果を発揮し始めています。景気の底割れは防げたのではないかと思います。もちろん本格的な景気回復はこれからですが、そんな日本にとって今一番求められていることは何でしょうか？

地球温暖化を食い止め、「低炭素革命」を成し遂げるために新技術の開発を進め、環境産業・未来型産業を支援し、そのための人材を育成することによって新たな市場と雇用を生み出す。松本純はこう考え、その政策の断行に全力を尽くします。

日本の太陽光発電を世界一にする、エコカーを世界最速で普及させる。その一部はすでにスタートしていますが、「ニッポン浮上」の力ぎは、経済成長を見据えての、こうした「未来への投資」であると確信します。

石油ショック、バブル崩壊を国民の創意と工夫で乗り切った日本です。その「底力」が今回も通用しないはずがありません。

人生に「切れ目のない安心を」

「百年に一度」といわれる経済危機は、家族や地域など、私たちに安らぎを与えてくれた「心のよりどころ」の喪失を加速させました。医療・年金・介護・福祉などの社会保障制度への不安が、それを増幅させています。

今求められているのは、信頼できる社会保障制度を確立し、全世代・全生涯を通じた「切れ目のない安心」を実現することです。

松本純は「3つの政策」の断行を皆さまに約束します

「経済成長」を図り、活力と安心が両立する社会をつくります

- 環境保護・未来型産業への支援を進め雇用と所得を確保します
- 人への投資を進め個人の能力発揮・自己実現をサポートします

全世代・全生涯に「安心」をもたらす社会保障制度を確立します

- 信頼できる医療・年金・介護・福祉の実現を最優先で行います
- 子育て・次世代を支援し、家族・地域を支える政策を進めます

公務員制度改革、地方分権で「政治への信頼」を取り戻します

- 政治主導の下、ムダを徹底排除して、国民のために働く政府にします
- 「天下り」「渡り」を全面禁止し官僚の特権意識を打破します
- 国と地方の関係を見直し地方分権・道州制の実現を図ります

日本再生のカギは「家族」

このように活力と安心を両立する社会が、いまの時代にふさわしい「新日本型安心社会」といえるので

●平成十七年九月、小泉純一郎首相のもとで行われた「郵政選挙」で三期目の議席を得て、間もなく四年になります。この間、首相は安倍晋三、福田康夫、麻生太郎の各氏にバトンタッチされました。

松本純は総務大臣政務官、衆議院議院運営委員会理事、自民党国会対策委員会副委員長、副幹事長、内閣官房副長官を歴任しました。まさに激動の四年間でした。

今回の総選挙は経済危機からの「ニッポン浮上」をかけた闘いです。私は三期十年のすべてを投入して選挙戦に臨みます。

はないでしょうか。

松本純は、中区野毛で生まれ育ち、地域の皆さまの支援で国会に送っていただきました。私のライフワークは「福祉」です。信頼できる社会保障制度の確立は私の使命です。そして「日本再生」の力ぎを握るのは家族・地域であり、それを守り、支援するのは政治の責任です。



衆議院議員 松本純 活動の軌跡

2005年 (平成17年)



2005年9月 3期目当選



初登院



総務大臣政務官に再任



全国女性消防操法大会 総理代理挨拶



参議院補選で川口より子候補が当選



松本純女性の集い 五大路子さんと



耐震強度偽装問題の委員会で



議会制度協議会

2006年 (平成18年)



河野洋平議長の欧州各国視察に随行



根岸にて燃料電池自動車の視察



安倍晋三総裁誕生、副幹事長就任



神奈川116区の補選応援



沖縄知事選の補選応援



厚生労働委員会で感染症質疑



金沢共同満シールドマシン到達式



"為公会" 発足設立総会にて

2007年 (平成19年)



北九州市長選に1ヶ月間出張



パシフィコ横浜「うまいものサミット」開会式



社会保障制度調査会介護委員会事務局長にて



神奈川県議、横浜市議選スタート



横浜市連会長に就任



内閣改造麻生幹事長誕生



薬害肝炎対策で質問



首都高横羽線「横浜公園出口」開通式

2008年 (平成20年)



長寿医療制度議論



カンボジア・ベトナムヘイズ調査



麻生新総裁誕生



内閣官房副長官に就任



内閣総理大臣杯授与



官邸で記者会見



内閣委員会

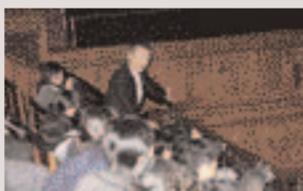


国民保護共同実動訓練

2009年 (平成21年)



日米首脳会談



国会見学ツアーガイド



ロンドンサミットへ随行



横浜開港150周年こどもみなとPR隊官邸訪問



新型インフルエンザ対策本部

松本純がいま ヨコハマで 取り組んでいること

国道357号の 「本牧間門町～新磯子町間」が着工へ 皆さまの署名運動が実を結びました

平成21年度補正予算が成立し、国土交通省は国道357号の整備費104億円を計上しました。これによって、地元の皆さまの永年の悲願だった国道357号の未整備区間、本牧間門町～新磯子町間の着工が現実のものとなりました。

未整備区間の完成によって、金沢・磯子の両区と中区との間の所要時間が大幅に短縮されて、新たな経済価値を生みます。また、車の排ガスが減少し、周辺地域の環境が大きく改善されます。

特に排ガスの大幅削減による地域の環境改善は、小児ぜんそくに苦しんでいる子供たちや家族の皆さまには、このうえない朗報だと思います。

また沿線の慢性的な交通渋滞によって、車が生活道路や通学路に入り込み、地域の皆さまの安全と安心を脅かしている現状も大きく改善されます。

国道357号未整備区間の早期着工については、中区、磯子区の沿線住民の皆さまが熱心な署名運動を展開され、その署名数は2万4951人に達しました。今回の予算措置は皆さまの活動が実を結んだものです。

私も、皆さまのこの切実な声を国土交通省に届けるお手伝いができたことをうれしく思っています。今後も引き続き、未整備区間の一日も早い着工・完成のために全力を尽くします。

APEC首脳会議の 「2010年横浜開催」が決まりました

APEC (アジア太平洋経済協力) 首脳会議の2010年横浜開催が決まりました。

首脳会議は、アメリカ、中国、韓国、ロシア、オーストラリアなど21の国と地域の首脳が集まる世界最大の国際地域協力会議です。ここでは、貿易・投資などの経済問題やテロ対策など、国際的な課題が協議されます。

横浜ではAPEC招致のために官民をあげての活動が展開されてきました。これほど大きな国際会議は、「横浜」を世界にアピールする絶好のチャンスだからです。

会議には各国首脳や政府関係者に加えて報道陣など計4,000人以上が参加すると予想されていますが、そうした人たちが横浜と横浜市民に直接触れ、「横浜発」のニュースが世界を駆け巡るので、想像するだけでも興奮を抑えられません。

APECの横浜開催決定は、「コンベンション・シティ横浜」の実現に力を尽くしてきた私にとっても、大変うれしい知らせでした。このうえはぜひ、市民参加でAPEC首脳会議を成功させようではありませんか。

まつもと じゅん プロフィール ●昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ ●野毛山幼稚園、本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師 ●本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む ●平成2年～横浜市議 (3期) ●平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人 ●平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官。 ●平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。 ●平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。 ●平成18年9月～自民党副幹事長 (以後、4期連続) ●平成19年6月～自民党横浜市連会長 ●平成20年9月、麻生内閣で官房副長官に任命され現在に至る